**2023年“外教社杯”天津市**

**大学生翻译竞赛日汉互译组初赛试题**

**日译汉原文：**

**中国茶の歴史**

三国時代の書物『広雅』によると、お茶は茶の葉を餅状に丸めたものを、あぶって搗き、湯をかけ、みかんの皮、ねぎ、しょうがなどと混ぜて、他の材料と一緒に煮るスープのようにして、飲まれていたようです。

唐の時代になると、お茶を飲む習慣は全国に広がりました。このころのお茶は、蒸した茶葉を搗き固めて乾燥させた餅茶が主流でした。世界でもっとも古いお茶の本といわれている『茶経』は、唐の時代に陸羽によって記されたものです。そのなかには、餅茶の作り方や飲み方について詳しく書かれており、摘んだ茶葉を蒸し、搗いて型に入れて成形し、日干し後、火で炙って乾燥して保存し、飲用する時は、それを削って粉砕し、塩を入れた湯に加えて煮た後、器に入れて飲む、とあります。

宋の時代になると、お茶は貴族から役人や文人など富裕な市民のものへと変遷していき、お茶を飲みながら詩を吟じ、書をたしなみ、絵を描き、哲学を論じたとされています。時に遊びとして「闘茶」と称してお茶の良し悪しを鑑定し、茶器の良否を競うこともありました。飲み方も、緊圧茶の茶葉をすった粉末を茶碗に入れてお湯とかき混ぜるという、日本の抹茶のような飲み方が行われていました。また「餅茶」の製法が複雑になり、さらに呼び方が変わって「片茶」「団茶」と呼ばれるようになりました。

明の時代になると、お茶は大変動の時代を迎え、貴族と富裕市民に限られていた喫茶の習慣が一般市民へと普及していきました。この時代、団茶はお茶本来のおいしさを損なっており、また、製造に手間がかかるということで、初代皇帝、洪武帝は団茶禁止令を出しています。この後「散茶」が本格的に生産されるようになり、茶葉の主流が急変しました。さらに蒸し製法に代わり、釜炒り製法が一般的になりました。また、ジャスミン花の香りなどを着香させた「花茶」が登場するのもこの時代です。

清の時代になると、中国茶葉や茶具はほぼ完成し、茶文化は最盛期を迎えます。福建省では青茶が開発され、「花茶」とともに愛飲されるようになりました。また、青茶ならではのすばらしい香りを追求する過程で、工夫茶の手法が開発されました。工夫茶とは、時間と手間をかけてゆっくりと丁寧にいれるお茶を意味します。お茶の魅力を引き出す茶器を使っていれ、まず聞香杯で「香り」を楽しみ、次に茶杯で「味」を楽しみます。中国茶が香りを大切にし、「花茶」が大いに普及しているのは、このころからの習慣といえるでしょう。

**汉译日原文：**

如果把秦以来的古代中国文化分为前后期，秦至唐的1000年为前期，宋至清的1000年为后期。那么，唐代是中国前期艺术的高峰，又是中国古代艺术从前期转向后期的关键。宋至清的后期文化严格地说，起源于中唐。叶燮说： “贞元、元和之际，后人称诗为 ‘中唐’，不知此 ‘中’者，乃古今百代之中，而非有唐之所独，后千百年无不从是以为断。”（《百家唐诗序》）前期的顶峰和后期的初源交织在一起，交汇成了唐代艺术的万千气象。唐代不但是中国古代文化前期的顶峰，而且是当时世界文化的极致。唐代约300年，从公元618年至907年，西方正是中世纪初期，印度在戒日王统一北印的光芒一闪后，随即陷入分裂，继而遭伊斯兰入侵，又遭突厥入侵，非洲、美洲不用说，当时世界闪耀辉煌的，一是以君士坦丁堡为中心的拜占庭帝国，一是以巴格达为中心的阿拉伯帝国。这二者都远不及大唐的盛况。唐代的版图，东到朝鲜半岛，西北至葱岭以西的东亚，北括蒙古，南抵印度支那。唐初借统一之雄风，东征西讨，南扫北伐，培养起了一种昂扬向上、意气风发的民族心态，而且造就了壮气独存的唐代边塞诗：

感时报国恩，拔剑起蒿莱。（陈子昂 《感遇三十五》）

宁为百夫长，胜作一书生。（杨炯 《从军行》）

万里不惜死，一朝得成功。画图麒麟阁，入朝明光宫。大笑向文士，一经何是穷。（高适 《塞下曲》）

男儿生此间，及壮当封侯……少年别有赠，含笑看吴钩。 （杜甫 《后出 塞》）

黄沙百战穿金甲，不破楼兰终不还。（王昌龄 《从军行》）

然而，最能代表唐代的辉煌不是军事，而是文化。300年的唐代基业由隋而来，隋朝（581—618）37年。隋与唐，正好与秦与汉形成一个奇妙的对照。秦为中国创造了万里长城，用建筑的形式象征了中国文化大一统的事实上形成，也标志了中国文化圈农耕文化与游牧文化的一循环不已的关系形态。隋为中国开出一条千里运河，象征了农业文明中南北之间的新型经济关联。中国新的经济增长和文化增长都预蕴在这一条人工的运河之中。秦之前的周是世袭贵族时代，秦用军功创造了一种人人可平等地用 “气力”获高位；唐之前是门阀世族的时代，隋用科举为人人可平等地用 “知识”获得高位。汉承秦制，唐继隋风，在长城与运 河，军功与科举的对照中，唐代的经济力量和文化辉煌的特色已经显示出来了。东起长安的丝绸之路在把唐文化播向远方的同时，也带来了南亚的佛学、医学、 历法、语言学、音乐、美术，中亚的音乐、舞蹈，西亚的祆教、景教、摩尼教、 伊斯兰教、医术、建筑、艺术、马球运动等，在这些东西的后面，是印度芨多文化、珊萨波斯文化、拜占庭文化，以及暗渗于其中的埃及、亚述、希腊、罗马文化。在东海上，木船带来又送去了一批批日本使者。王维的诗句 “九天阊阖开宫殿，万国衣冠拜冕旒”《和贾舍人早朝大明宫之作》，既写出了唐代的盛境，又表现了唐人包容天下的胸怀。西域服饰风行宫廷内外，中亚舞蹈、音乐，天竺杂技、魔术娱乐社会各层，对外来新风气的惊异、欢迎、效法、创造，为唐代艺术雄奇艳采提供了一个竞争环境。“语不惊人死不休”，不仅是杜甫的创作心态，也不仅是对诗歌的现象描述，而且是唐代整个艺术活动的写照。